

静岡県の 学校図書館

令和7年10月発行

発行：静岡県総合教育センター

総務企画・ICT推進課生涯学習推進班

電話：0537-24-9715

メール：sogokyouiku-soumuict@pref.shizuoka.lg.jp

研修 報告

紙とデジタルのベストミックスで情報活用能力を育む授業づくり 学校図書館活用研修

令和7年9月26日、「紙とデジタルのベストミックスで情報活用能力を育む授業づくり 学校図書館活用研修」を実施しました。

最初に、県立中央図書館職員による「著作権と教育活動・学校図書館」の講義が行われました。次に、青山学院大学准教授の庭井史絵氏から「紙とデジタルのベストミックスによる授業づくり」をテーマに、講義と演習を行いました。

庭井先生は、「学校図書館の活用は“本を使うこと”だけではなく、子どもたちと情報をつなぐこと」と話されました。図書館という“場所”に限らず、教室やオンライン環境でもその機能を発揮できること、そして紙やデジタルなど、さまざまな情報源を状況に応じて使い分ける力を育てることの大切さ

を示されました。演習では、調べたいテーマに応じてどの情報源を使うかを考えるワークや、文献管理アプリを使って自分の情報収集の傾向を可視化する体験を行いました。終了後のアンケートでは「すぐに授業で活かそう」「情報の使い分けを子どもたちにも意識させたい」等の声が寄せられ、実りある一日となりました。



講座 報告

令和7年度みんなでつくろう学校図書館講座

令和7年8月25日、静岡県総合教育センターにおいて「みんなでつくろう学校図書館講座」を開催しました。県内の学校司書、教員、公立図書館職員などが参加し、県立中央図書館職員による「ブックトーク入門」、東京都内小中学校司書の勝呂由紀氏による「整理収納×図書更新のコツ」をテーマに講義と演習を行いました。



「ブックトーク入門」では、講義に加えて、参加者が事前課題で作成したブックトークをグループで発表しました。互いの発表や講師による実演を通して、本の魅力を効果的に伝える方法を体感することができました。

次に、学校図書館を整える整理収納アドバイザーとして活躍されている勝呂氏から、環境整備の工夫や図書更新の進め方を、具体的な写真やデータとともに解説していただきました。また、掛川市教育委員会の協力のもと行われた桜が丘中学校の実践例が紹介されました。

受講者からは「他の人のブックトークを聴くことができ勉強になった」「学校図書館の可能性を再確認できた」「現場に戻ってすぐに図書館の環境改善に取り組みたい」との感想も寄せられ、学び合いと実践意欲に満ちた講座となりました。

学校図書館のよさをどう伝える？

校長・教職員向け学校図書館活用パンフレットのご紹介

全国学校図書館協議会が、令和6年度文部科学省委託事業として、学校図書館の活用をテーマにした2種類のパンフレットを発行しました。

- ▶〔校長向け〕 校長のリーダーシップがカギ！
学校図書館活用で学びの充実を
- ▶〔教職員向け〕
豊かな授業づくりに学校図書館を！

どちらのパンフレットも、学校図書館を学校経営や授業づくりの中でどう生かしていくかを、実際の事例をまじえて分かりやすく紹介しています。授業や取組の写真も多く、読んでみると「自分の学校でもやってみたい」と感じられる内容です。

学校図書館担当の先生方にとっては、校長や他の教職員に図書館の意義や魅力を伝えたり、校内での理解を広げたりする際の心強い資料になります。職員会議や校内研修で共有するなど、学校全体の図書館活用を進めるきっかけとして活用できそうです。

パンフレットは全国学校図書館協議会のウェブサイトからPDFで閲覧できます。

ぜひ一度ご覧ください。

全国学校図書館協議会
「学校図書館活用パンフレット」
<https://www.j-sla.or.jp/material/achievement/kensyuu-pamp-r7.html>



生徒がつくる居心地のよい図書館 —東京都立小台橋高等学校—

令和7年7月、東京都立小台橋高等学校を訪問し、学校図書館を見学しました。同校は令和4年度に度に関開した昼夜三部制・単位制の総合学科高校で、不登校を経験した生徒や中途退学者などを主に受け入れる東京都のチャレンジスクールに指定されています。今回は「東京・学校図書館スタンプラリー」参加校として一般公開されていた機会に訪問しました。



図書館は閲覧室の入口に扉がなく、廊下からそのまま入ることができます。立ち寄りやすい開放的なつくりで、明るく落ち着いた雰囲気が印象的でした。館内には、生成 AI 体験コーナー、新書まつり、覆面本コーナーなど、生徒の好奇心をくすぐる工夫が随所に見られます。また、校内で捕獲したゲンゴロウなどを飼育する水槽コー

ナーもあり、自然とのふれあいを感じさせるユニークな空間づくりがなされていました。

この学校では、生徒ボランティアが図書館の運営を支えています。約30名の登録があり、この日も数名の生徒が来館者に積極的に声をかけ、展示を説明する姿が見られました。図書委員会がなくても、生徒が自主的に関わり、活動を楽しんでいる様子が印象的でした。

蔵書構成にも特色があります。小説などの文学分野は少なめで、探究活動を意識した資料を重点的に整備しているとのこと。漫画やライトノベルをあえて多くは置かず、調べ学習や課題研究を支える内容に力を入れています。

生徒の主体性を尊重しながら、多様な学びや関心に寄り添う図書館。「学びの拠点」としての新しい高校図書館の姿がありました。

